

大会第2日 [10月28日(水)] 13:00~16:00 オンライン・口頭・セッション

A2P, B2P, C2P, D2P

	A2P	B2P	C2P	D2P
	専門分科会2「霧研究の現状と展望」	熱帯大気	物質循環システム 気象予報	降水システム
座長	大橋 唯太 (岡山理大・生物地球)	伊藤 耕介 (琉大)	眞木 貴史 (気象研)	川瀬 宏明 (気象研)
	SP2-01+ 川合 秀明 (気象研) 全球の海霧の分布とその温暖化時の変化	TR-01+ 柳瀬 友朗 (京大院理) 湿潤対流の自己集合化の発生に関する新たな臨界長さ	MC-01+ 眞木 貴史 (気象研) 衛星観測データバイアス補正による炭素収支解析への影響	PR-01+ 王 家瑞 (東京大学) Performance of AMPS-SCALE LES Model Calculations of Arctic Mixed-Phase Clouds
	SP2-02+ 菅原 広史 (防大) ドローンによる低層雲の観測	TR-03+ 安永 数明 (富山大学) スマトラ島西岸における沿岸降水帯に関する数値実験	MC-06+ 酒井 哲 (気象研) ニュージーランド・ローダー上空高度24-31 kmで観測された非球形粒子と低濃度オゾン	PR-04+ 竹見 哲也 (京大防災研) 近年の豪雨発生における湿潤絶対不安定層 (MAUL) の役割
	SP2-03+ 名越 利幸 (岩手大教育) 霧に関する数値シミュレーションー「岩手雫石の盆地霧と洋野町種市のヤマセの霧」ー	TR-04+ 清木 亜矢子 (JAMSTEC) 北半球夏季季節内振動に対するPJパターンの季節内規模応答	MC-07+ 安成 哲平 (北大北極セ) 寒冷地対応型ポータブルPM2.5測定システムの開発と性能評価及び利用希望者への情報提供	PR-05+ 後藤 悠介 (東京学芸大) 東京及び埼玉において夏季高温日午後に発生した局地的大雨の水平挙動について
	SP2-04+ 浅野 裕樹 (筑波大・院) つくば市におけるヒートアイランド現象が放射霧に与える影響	TR-05+ 茂木 耕作 (JAMSTEC) スマトラ西岸沖における直接観測を用いた海面水温格子点プロダクトの検証	MC-11+ 山田 将喜 (筑波大院生命地球科学研究群) 大気の川が日本にもたらす豪雨の時空間的特徴	PR-06+ 清水 慎吾 (防災科研) 線状降水帯インデックスと高頻度積算雨量予測情報を用いた線状降水帯の自治体実証実験
座長			雨宮 新 (理研計算科学)	
	SP2-05+ 前坂 剛 (防災科研) Kaバンド雲レーダーによる霧の観測	TR-07+ 横井 覚 (JAMSTEC) 西部熱帯太平洋域における大気境界層熱水収支過程の季節内変動	WF-03+ 本田 匠 (理研計算科学) SCALE-LETKFによる30秒更新30分予報のリアルタイム実験	PR-12+ 神谷 明住香 (名大ISEE) 平成30年7月豪雨における豪雨域上流から移動する気塊の経路上の水蒸気量の変化と降水量の関係
座長	重田 祥範 (鳥環大)	安永 数明 (富山大学)		清水 慎吾 (防災科研)
	SP2-06+ 高玉 孝平 (理研) 東京湾の霧予報に向けた予備実験ー大気海洋河川相互作用の役割ー	TR-11+ 山中 大学 (地球研) 熱帯沿岸起源重力波の成層圏準二年周期振動への寄与	WF-04+ 雨宮 新 (理研計算科学) 機械学習を用いたモデルバイアス補正：Lorenz96モデル実験 (続報)	PR-15+ 廣川 康隆 (気象研) 令和2年7月豪雨により九州地方で生じた線状降水帯の特徴
	SP2-07+ 渡辺 幸一 (富山県立大) 立山における霧水中の化学成分の特徴	TR-15+ 伊藤 耕介 (琉大) 海面水温偏差が中緯度偏西風ジェットとの相互作用を通じて台風Hagibis(2019)の移動速度に及ぼした影響	WF-09+ 藤田 匡 (気象研) 変分法によるドップラー速度のデータ同化：ウェーブレット空間での制御変数の検討	PR-16+ 荒木 健太郎 (気象研) 令和2年7月豪雨をもたらしした線状降水帯の発生環境場

	SP2-08+ 重田 祥範（鳥環大） 岡山県津山盆地における湿数変化と照度の関係性ー地上観測から推定する霧の消滅過程ー	TR-19+ 太田 聡（北大院環境科学） 機械学習によるひまわり衛星画像内のアンビル検出	WF-10+ 青梨 和正（JAXA EORC） 降水の混合対数正規PDFと新しい位置ずれ補正法のall-sky MWI TBのEnVar同化への導入	PR-17+ 北畠 尚子（気象大） 2020年7月4日の熊本県の大雨時の総観場の特徴
	SP2-09+ 西原 大貴（岡山理大院・生物地球） ドローンで観測された三次盆地で発生する放射霧の気象要素の鉛直プロファイル（第2報）	TR-20+ 柳瀬 亘（気象研） 令和元年台風第19号の降水の非対称化メカニズム～その2	WF-11+ 幾田 泰醇（JMA MRI） 令和2年7月豪雨に対する船舶GNSSの同化インパクトと発生要因	PR-25+ 藤倉 理人（筑波大院） 動画解析による降雪粒子の併合効率と気温・湿度との関係
座長	菅原 広史（防大）			
	SP2-10+ 大橋 唯太（岡山理大・生物地球） 三次盆地で発生する放射霧の数値シミュレーション	TR-21+ 池端 耕輔（東大AORI） 台風発生数と弱い熱帯低気圧の生存率	WF-13+ 川畑 拓矢（気象研） 令和2年7月豪雨における線状降水帯の確率予測	PR-35+ 細川 椿（琉球大理） 台風Maria（2018）のレインバンドに関する地形性降雨強化の解析
	SP2-11+ 伊藤 純至（東北大） 肱川あらしのアンサンブル予報		WF-15+ 小笠原 宏司（京大） Schmidt変換とRBFを用いた局所細密化移流モデルの開発	
	SP2-12+ 大橋 唯太（岡山理大・生物地球） 別府で発生する滑昇霧ー2020年の事例ー		WF-26+ 中下 早織（京大理） 2019年台風第19号上陸3日前の進路予報精度低下の要因	
	SP2-13+ 重田 祥範（鳥環大） 大分県日田盆地で発生する放射霧の動態ータイムラプスカメラによる霧の定点観測ー			

	A3A	B3A	C3A	D3A
	専門分科会1「宇宙からのエアロゾル・雲・降水観測の未来」	環境気象観測手法	気候システム 気象教育	大気境界層 降水システム
座長	増永 浩彦（名大ISEE）	佐藤 晋介（NICT）	釜江 陽一（筑波大生命環境）	荒木 健太郎（気象研）
	趣旨説明（高橋 暢宏）			
	SP1-01+ 久保田 拓志（JAXA/EORC） 二周波降水レーダの降水推定における雲水量仮定について	EM-01+ 今清水 雄二（元秋大鉾博） 日本列島近海海面水温の上昇傾向	CL-01+ 岩切 友希（東大AORI） 多年ラニーニャ現象による夏季日本の気温影響	BL-01+ 河合 佑太（理研 計算科学） ラージエディシミュレーションで必要とされる力学コアの離散精度に関する研究
	SP1-02+ 金丸 佳矢（NICT） GPM DPRにおける弱い降水検出の課題とその改良	EM-03+ 山中 大学（地球研） 人間活動の偏在による災害・環境諸問題の深刻化	CL-11+ 堀田 陽香（東大AORI） 雲システム解像モデルNICAM-SPRINTARSを用いた水雲－エアロゾル相互作用の全球的評価	BL-02+ 中村 祐輔（筑波大学 CRIED） 中小規模都市における夜間都市境界層の形成と卓越風の関係
	SP1-03+ 清木 達也（JAMSTEC） GPM-DPRを用いた全球3次元電分布：北米地上レーダー網NEXRADを利用した電シグナルの検証	EM-06+ 佐藤 亮吾（筑波大院生命環境） 日本全国の各市区町村を対象とした熱中症救急搬送者数の将来予測	CL-13+ 川合 秀明（気象研） 亜熱帯下層雲の放射冷却は夏季の亜熱帯高気圧を強化するか？	BL-04+ 太田 佳似（気象予報士会） 温低化過程の台風 1920 号の突風解析の試み
	SP1-04+ アルセパン ギヴォ（Hokudai） Interannual Variability of Regional Precipitation Related to Large-Scale Climate Modes in 1960-2007	OB-04+ 大野 裕一（NICT） WINDAS鉛直速度観測を用いた高層雲の解析 (4)	CL-20+ 熊谷 龍慶（岡山大学教育学部理科） 日本付近における日々の冬型時の総観場の違いで見える初冬から真冬の移行の特徴について	BL-05+ 岡地 寛季（北大工学院） 大気境界層内の雨滴と海面砕波飛沫が有するバルク係数への影響と観測より得られた粒径分布の特徴
座長	鈴木 健太郎（東大AORI）			
	SP1-05+ 南出 将志（東京大学） 全天赤外輝度温度同化を通じた対流の予測可能性	OB-05+ 川畑 拓矢（気象研） 教師なし機械学習によるラマンライダーデータのノイズ除去	CL-23+ 中村 祐貴（三重大院生物資源） 近年の関東地方における降雪の極端化とそれをもたらす環境場の変化	BL-06+ 牧園 善樹（鳥環大） 伯耆大山で発生する斜面温暖帯の観測
座長		大野 裕一（NICT）	川合 秀明（気象研）	村田 昭彦（気象研）
	SP1-06+ 広瀬 民志（JAXA） 衛星赤外降雨推定に対するヒストグラム補正の適用	OB-09+ 野澤 大輝（近大） Ku帯二重偏波レーダにおける比偏波間位相差を用いた降雨推定精度の強度依存性評価	CL-24+ 松本 叡知（筑波大院生命地球科学研究群） 人為的なエアロゾル排出量の変化によるアジア・太平洋域の気候変動	PR-37+ 姜 允熙（ISEE） Origin of Water Vapor for the Atmospheric River in the Heavy Rain Event of July 2018

	SP1-07+ 佐藤 正樹（東大AORI） ULTIMATE ：関東圏ウルトラサイト観測の包括的利用による高解像度数値モデルの連携研究推進	OB-13+ 富田 洸祐（近畿大学大学院） Ku 帯広帯域レーダによる雪片と雲のZ-R関係	CL-25+ 釜江 陽一（筑波大生命環境） 令和2年7月豪雨時の水蒸気輸送に対する遠隔影響	PR-38+ 吉田 智（気象研） 下層水蒸気量と海風前線の対流発生への寄与ー羽田空港周辺2018年9月2日の事例ー
	SP1-08+ 橋本 真喜子（JAXA） 衛星エアロゾル特性導出アルゴリズム開発とGOSAT-2/CAI-2への適用及び誤差解析	OB-15+ 佐藤 晋介（NICT） 深層学習による気象レーダー観測ギャップのエコー画像生成	CL-29+ 林 未知也（環境研） 気候モデルによる海洋亜表層の非線型力学加熱の再現性：ENSO非対称性と熱帯温暖化予測における役割	PR-42+ 荒木 健太郎（気象研） 令和元年台風第19号における降水強化メカニズム
	総合討論 話題提供 岡本 創・高薮 縁(予定)	OB-16+ 田村 亮祐（生存研） レーダーインバージョンによる大気乱流強度推定	CL-31+ 山磨 貴登（岡山大学教育学部理科専修） 梅雨最盛期の中での日々の降水の特徴や年々の変動性の季節進行に関する長期解析(長崎と東京の比較を例に)	PR-50+ 李 肖陽（九大-理学院-地惑科学） Numerical study of water origins within explosive cyclone system developing in the vicinity of Japan
		OB-23+ 清水 健作（気象防災事業部気象グループ） 雲/降水粒子撮像装置ビデオゾンデの1680MHz帯実験局から400MHz帯気象援助局への移行技術の研究開発	ME-01+ 山本 哲（気象庁） 戦争終結を遅らせた台風ー「藤原の効果」の発見ー	PR-55+ 石戸 空（高知大理工） 竜巻をもたらした台風外縁の波状雲

オンライン口頭プログラム

日本気象学会2020年度秋季大会

大会第4日 [10月30日(金)] 9:00~12:00 オンライン・口頭・セッション

A4A, B4A, C4A, D4A

	A4A	B4A	C4A	D4A
	専門分科会3「静止軌道からの地球環境観測」	大気放射 熱帯大気	気候システム 気象教育	大気力学 中層大気 中高緯度大気
座長	樋口 篤志（千葉大CEReS）	林 昌宏（気象研）	植田 宏昭（筑波大・生命環境）	渡辺 真吾（JAMSTEC）
	趣旨説明 （樋口 篤志（千葉大CEReS））			
	SP3-01+ 樋口 篤志（千葉大CEReS） 次期ひまわり搭載イメージャーに関する検討	RD-02+ Ha Hyunju（東京海洋大学） 広帯域放射伝達モデルMstrnX の精度・速度の向上の検討	CL-34+ 藤部 文昭（都立大・都市環境） 新型コロナ自粛期間における東京の気温偏差	MA-07+ 佐藤 薫（東大院理） 2019年9月の南極成層圏突然昇温の力学的特徴
	SP3-02+ 市井 和仁（千葉大CEReS） ひまわり8号を用いた陸面モニタリングの試み	RD-03+ 安間 碩成（東北大院理） 北極圏の大気上端の上向き短波放射フラックスの長期変動とその要因	CL-35+ 水口 知世（佐賀地台） 雪氷圏に適用可能な湖沼熱モデルの開発	MA-10+ 直江 寛明（気象研） 2019年南半球SSWの波動伝播特性とダブルジェット

	SP3-03+ 山本 雄平（千葉大CEReS） 2018年の東アジア猛暑時における地表面温度の高頻度解析	TR-23+ 山口 宗彦（気象研） 1980年以降東京に接近する台風が増加している	CL-37+ 栗 世学（Hokudai） The controlling factors of winter Tibetan Plateau snow cover and their change under global warming	MA-03+ 渡辺 真吾（JAMSTEC） 2018年2月成層圏突然昇温時の重力波の振る舞いについて
	SP3-04+ 佐藤 陽祐（北大院理） 雷を直接扱った数値モデルの現実事例への拡張	TR-24+ 川端 康弘（気象研） 複数アンサンブルを用いた台風発生予測の可能性	CL-38+ 村上 裕之（GFDL） 機会学習によって抽出された日本における極端降水現象頻度の増加トレンドと将来変化	DY-07+ 奥井 晴香（東大院理） 高解像度ハイトップ大気大循環モデルを用いた成層圏突然昇温時の全中層大気の力学変動の研究
	SP3-05+ 本田 匠（理研計算科学） 静止衛星による雷観測データ同化の観測システムシミュレーション実験	TR-25+ 大滝 寿一（横浜国大） 台風経路-高潮アンサンブルシミュレーションによる高潮リスクの算出	CL-41+ 原田 やよい（MRI） 西日本の大雨時における大気大循環場の特徴～平成30年7月豪雨との比較～（第2報）	DY-05+ 小原 涼太（東北大理学研究科） 2019年10月25日の東日本の大雨位置に対するCADの影響
座長				平沢 尚彦（極地研）
	SP3-06+ 牛尾 知雄（阪大） 衛星からの雷観測	TR-26+ 久保田 尚之（北大院理） 日本に上陸した台風の長期変動(1877年-2019年)	CL-44+ 安藤 雄太（三重大院生物資源） シベリアの寒冷化に伴う海陸コントラストがもたらす初冬の極夜ジェットの弱化	MH-03+ 野口 萌（福岡管区气象台） 梅雨期における東シナ海上での下層強風帯の特徴
座長	今須 良一（東大AORI）		原田 やよい（MRI）	
	SP3-07+ 岡本 幸三（気象研） 数値予報データ同化における静止衛星観測の利用	TR-27+ 筆保 弘徳（横浜国大） 大規模アンサンブルデータで得られた台風発生数に対する遠隔影響	CL-46+ 鈴木 香寿恵（法政大理工） 確率台風モデルを用いた台風経路に対するSSTの影響評価	MH-07+ 佐藤 拓人（筑波大生命環境科学研究科） 気圧配置分類に有効な類似度計算法の調査
	SP3-08+ 藤田 匡（気象研） ひまわり後継衛星のGeoHSSによるメソ数値予報へのインパクト調査	TR-29+ 南出 将志（東京大学） ハリケーン急速発達過程における非線形な予測不確実性増加	CL-48+ 竹村 和人（京大院理） 2016年8月後半のロスビー波の伝播及び砕波に伴うモンスーントラフ強化の予測可能性	MH-08+ 平田 英隆（立正大・地球環境科学） 寒候期に温帯低気圧がもたらす強風の地域的特性
	SP3-09+ 金谷 有剛（JAMSTEC） アジア大気組成観測静止衛星：第二幕を見据えて	TR-30+ 小林 健太（IGSES） 対流圏界面付近の気温場が台風に与える影響について	CL-51+ 小林 ちあき（気象研） 2019年南半球成層圏突然昇温後の負の南極振動の持続(その2)	MH-10+ 平沢 尚彦（極地研） 南極氷床上に展開した無人気象観測装置（AWS）の積雪深計の観測結果に基づく議論
	総合討論 樋口 篤志（千葉大CEReS）	TR-31+ 金田 幸恵（名古屋大学ISEE） 多重壁雲台風のベストトラック相互比較	CL-52+ 植田 宏昭（筑波大・生命環境） 令和2年7月豪雨・長梅雨時に日本の南海上で強化された高気圧の成因	MH-11+ 平沢 尚彦（極地研） 南半球高緯度域におけるBe-7の濃度分布と時間変化
			ME-02+ 山本 竜也（釧路气象台） 1945年8月15日は「晴れて暑かった」のかー観測記録と人々の記憶ー	